

学んでみませんか!

健康なまちづくり

回	講義内容
1	開講式、生き生き健康ライフ
2	からだ 身体に良い歩き方セミナー(実技)
3	知ってます?市民の健康状態
4	みんなで増やそう!身近な緑
5	住みよい環境とごみ対策
6	歩いてみよう!郷土の歴史(実技)
7	みんなで楽しくリラクゼーション
8	家庭でもできる気功・指圧教室(実技)
9	『WE LOVE ZAMA!』 健康体操(実技)
10	始めようよ!!ニュースポーツ(実技)
11	宇宙をのぞいてみよう!(実技)
12	興味を持つ時がシャッターチャンス!(実技)
13	みんなで創る『座間』の健康なまちづくり、閉講式



いろいろな視点から健康なまちづくりを学んでいきます(写真はイメージ)

こんにちは!

健康なまちづくり推進委員会です

健康なまちづくり推進委員会では、市で実施している健康づくり関連事業に自ら参加し、意見や感想を发表しています。これらは、市の事業の立案に役立てられています。ここでは、昨年度の委員会での感想をご紹介します。



平成15年度委員の皆さん

人と人、人と社会など多数のつながりによる精神的な健康づくりを実践したり、健康づくり活動を支える環境を考えたりするこの事業。多くの人に参加してもらいたいですね



健康文化都市大学のごみに関する講義に参加して、環境を守るためには地域の人々の協力が不可欠であることを学びました

健康と名がつくと体を動かす活動と思いがちですが、この事業に参加して体だけでなく精神や環境などさまざまな視点に立った活動が健康なまちづくりにつながることを実感できました



だれもが健康で生きがいを持つことのできるまちづくりを目指した「健康文化都市大学」が開講したことは市民の皆さんにとって大変有意義なことと思います

市では昨年に引き続き、健康なまちづくりについて幅広い視点から学ぶ「健康文化都市大学」を今年も開講します。この大学では、健康について医学的な面からだけではなく、「健康な状態とは、自分にも人にも優しくなれること」、「生きていくのだ!」幸せだな!と

感じられること」など、身体的・精神的・社会的な面からとらえる健康なまちづくりを学んでいきます。健康文化都市大学では、今年も魅力的な講義が盛りだくさん。あなたも健康なまちづくりを学んでみてはいかがでしょうか。七月、平成十七

年二月土曜日開講予定(全十三回)
ところ サニープレイス座間(総合福祉センター)ほか
内容 左上表のとおり
対象 健康なまちづくりを自分で実践したい十八歳以上の市内在住・在勤者で、全講座の六割以

担当 企画政策課
☎ 046(252)8287
☎ 046(255)3550

健康文化都市大学を開講

選) 定員 六十人(多数抽
保 育 あり
受 講 料 千五百円(全講座の傷害保険料など。開講式までに納めること)
講 義 方 法 六月十八日(金)までに直接・電話・ファクスで担当へ

平成15年度生活関連物資価格調査

このほど「平成15年度生活関連物資価格調査」の結果がまとまりました(下表参照)。これは、市から委嘱を受けた10人の消費生活モニターが、年4回定期的に同じ店舗で同一商品の価格を調査したものです。今後の参考にしてください。
担当 市民生活課 ☎046(252)8158 ☎046(255)3550

品名	量目	平成14年度平均価格	平成15年度平均価格	対前年度上昇率
しょうゆ	1ℓ	291円	283円	-2.7%
みそ	1kg	350円	345円	-1.4%
砂糖	1kg	194円	193円	-0.5%
マーガリン	180g	176円	182円	3.4%
サラダ油	1.5kg	451円	497円	10.2%
マヨネーズ	500g	294円	287円	-2.4%
小麦粉	1kg	181円	181円	0
牛乳	1ℓ	188円	196円	4.3%
卵	M10個	169円	166円	-1.8%
即席ラーメン	5個入り	302円	325円	7.6%
合成洗剤	1.2kg	494円	471円	-4.7%
粉石けん	2.4kg	761円	772円	1.4%
ガソリン	1ℓ	94円	95円	1.1%

(消費税は含んでいません)

平成十五年 資源物分別収集 量の実績報告

市では、ごみの減量化や資源化を進めるため、空き缶、空き瓶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類、布類、金属類の資源物を分別収集しています。

分別品目が増え、資源物とごみの出し方が複雑になりましたが、皆さんのご協力によりおおむね順調に分別収集できています。
平成十五年には約八千九百トンの資源物を回収し、

集団資源 回収実績

市では、子ども会、自治会などを中心とした各団体の集団資源回収に対して、一キログラム当たり三円の奨励金を交付し、ごみの資源化を推奨しています(下表参照)。

昨年(平成十五年四月～平成十六年三月)の回収量は、合計約千八百九十六トンで、前年度に比べ約二百四十八トンの増加になりました。

平成15年度集団資源回収品目別回収量・奨励金一覧表

品目	回収量(kg)	奨励金(円)
新聞紙	1,380,544	4,141,632
雑誌	160,540	481,620
ダンボール	256,702	770,106
古繊維	70,774	212,322
アルミ缶	25,634	76,902
金物スチール	645	1,935
空き瓶など	1,889	5,667
合計	1,896,728	5,690,184

収集量は前年度に比べ一七パーセント増加しました。

ご協力を!

資源物の分別に

また、これに市が分別収集した資源物を合わせると、一年間で約九千九百五十トンを資源化したこととなります。限りある資源の有効活用のために、引き続き分別収集にご協力をお願いします。
資源対策課
☎046(252)7659
☎046(252)7616

市社会福祉協議会 シンボルマークを募集

市社会福祉協議会では、市民の皆さんが参加することのできる福祉活動や、だれもが安心して暮らすことのできる福祉社会を目指していくために、それにふさわしいシンボルマークを募集します。

応募期限 6月30日(水) 当日消印有効
応募資格 市内在住・在勤・在学者
応募規定 応募点数および作品に用いる手法・色彩などの制限はありません。ただし、作品は用紙1枚につき1点のみ有効。用紙の大きさは、官製はがきまたは縦横10センチ程度の紙(紙質は自由)
応募方法 シンボルマークを描いた用紙に、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、作品の説明を記入の上、応募期限内に〒228-0021市社会福祉協議会あてに郵送もしくは直接担当へ持参
発表 8月中に審査結果を直接応募者に通知
賞金 入賞した応募者のうち、最優秀賞者1人に3万円、入賞者3人に各5千円
作品の取り扱い 応募作品の著作権ほか諸権利は同協会に帰属
担当 市社会福祉協議会
☎046(266)1294 ☎046(266)2009

安心の 笑顔ひろがる 水道水

6月1日から
7日は水道週間
です

六月一日から七日まで、全国一斉に「水道週間」の啓発運動が実施されます。本市の水道はほぼ全世帯に普及しており、健康で文化的な市民生活やさまざまな社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤のひとつです。今後より一層皆さんに信頼される水道を目指して、安全で安定的に供給できる水道事業を推進していきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。
【水道の目標】
地震に強い水道づくりを

水道事業の効率的な経営に努めます。
【事業の概要(平成十四年度数値)】
一日平均配水量 四万一千八百八立方ℓ
一日一人平均給水量 三百八立方ℓ
配水管総延長 二十六万九千八百ℓ
給水原価 百二十六円七十四銭
供給単価 百十九円六十銭

進めます。湯水などの水不足に対応するため広域的な協力体制のもと節水意識を広めます。
安全な水を供給するため水質の監視や管理に努めます。

水道週間イベントを開催

とき 6月2日(水)～4日(金)
ところ 市役所1階市民ホール
内容 水道に関するアンケート、給水装置の展示など

六銭
水道部職員数 三十八人
給水原価:水量一立方ℓ当たりどれだけの費用が掛かっているかを表すもの。
供給単価:水量一立方ℓ当たりどれだけの収益を得ているかを表すもの。
担当 水道部業務課
☎046(252)7470
☎046(257)4155

木造住宅無料耐震相談

市では、昭和56年以前に建築された木造住宅を対象に、無料耐震相談を実施します。
とき 6月26日(土)午前9時30分～午後4時
定員 12人(先着順・時間予約制)
ところ 北地区文化センター2階第2会議室
相談員 神奈川県建築士事務所協会座間支部会員
持ち物 確認申請などの図面(略図でも可)、建築状況が分かる写真など
申込方法 6月22日(火)までに電話で担当へ
次回の相談は、9月に市公民館で予定しています。なお、市では建物の耐震診断について、電話や訪問などによる個別の勧誘はしていません。
担当 建築課 ☎046(252)7396 ☎046(252)2220

第1回体力年齢ウォッチング

とき 6月27日(日)午前9時～午後2時(体力診断の受付時間=午前9時～9時15分 午前11時～11時15分 午後0時30分～0時45分)
ところ 入谷小学校体育館
内容 健康体操やコンピューターによる体力診断の結果に基づき、健康運動指導士が運動相談に応じる
対象 市内在住・在勤・在学者
定員 体力診断は延べ150人(先着順)
持ち物 室内用運動靴、タオルなど(運動のできる服装)
申込方法 電話で担当へ
担当 スポーツ課
☎046(252)8177 ☎046(252)4311

許されません 暴走行為

6月は「暴走族追放強化月間」「二輪車交通事故防止強化月間」です。
「暴走はしない させない ゆるさない」を合言葉に暴走族追放の機運を高め、安心して暮らせる環境づくりのために各種運動を展開します。
また、4月1日から「神奈川県暴走族等の追放の促進に関する条例」が施行されました。このことにより、暴走族の一層の追放活動および、暴走族への加入防止活動が展開されます。今後とも、関係機関や団体、市民の皆さんのご協力をお願いします。
担当 市交通安全対策協議会事務局(市民生活課内)
☎046(252)8218 ☎046(255)3550



みんなの健康



担当 市民健康課 保健係 ☎046(252)7225 予防・医療係 ☎046(252)7213 リハビリ係 ☎046(252)7317 046(252)7043

ツベルクリン反応検査とBCG接種 予

対象	とき	
	ツベルクリン	BCG
2月1日~15日生まれ	6月1日(火)	6月3日(木)
2月16日~末日生まれ	6月7日(月)	6月9日(水)

受付時間 = 午後1時15分~2時15分(時間厳守)
ところ = 市民健康センター 対象 = 生後3カ月~4歳未満(なるべく1歳までに)
ツベルクリン反応検査の結果、陰性の場合にはBCGを接種し、陽性の場合には再検査します。

なかよしベビークラス 保

とき = 6月30日(水) 午前10時~11時30分 ところ = 市民健康センター 内容 = 新しい友達をつくりたい保護者のための教室。赤ちゃんと楽しく遊ぶ 対象 = 生後3カ月~4カ月児とその保護者 定員 = 先着30人 持ち物 = 母子健康手帳、バスタオル 申込方法 = 電話予約

育児相談 保

とき	受付時間	ところ
6月4日(金)	午前9時30分~10時30分	北地区文化センター
6月18日(金)	10時30分	市民健康センター

内容 = 身体測定と食事・発育状態・しつけの相談 持ち物 = 母子健康手帳 申込方法 = 直接会場へ

赤ちゃん教室 保

とき = 6月24日(木) 午前10時~11時30分 ところ = 市民健康センター 内容 = 離乳食の作り方・すすめ方、子どもの発達や予防接種について 対象 = 生後5カ月~6カ月児とその保護者 定員 = 先着30人 持ち物 = 母子健康手帳、離乳食用スプーン 申込方法 = 電話予約



発達相談 可

とき = 6月18日(金) 午前9時~正午 ところ = 市民健康センター 内容 = 乳幼児期の運動発達面での心配についての理学療法士による相談 対象 = 生後4カ月~1歳6カ月児 申込方法 = 電話予約

母親父親教室 保

とき	内容
6月30日(水) 午前9時15分~正午	栄養の話、妊娠中の生活、赤ちゃんとの触れ合い体験
7月3日(土)	産後の過ごし方と赤ちゃんの世話
7月7日(水) 午前9時30分~11時30分	歯の話、妊婦体操、お産の流れと呼吸法
7月10日(土)	赤ちゃんの沐浴、妊婦疑似体験、これからに向けて

ところ = 市民健康センター 対象 = 初産で妊娠20週~31週の方と夫 受講料 = 500円(テキスト代) 持ち物 = 母子健康手帳、筆記用具 申込方法 = 6月23日(水)までに電話で担当へ

4カ月児健康診査 保

とき = 6月15日(火) 午後1時~2時 ところ = 市民健康センター 対象 = 平成16年2月生まれ

8~10カ月児健康診査 保

市では、指定医療機関を定め、無料で健康診査を実施しています。対象者には個人通知をしますので、あらかじめ医療機関に電話連絡の上、母子健康手帳をお持ちになって受診してください。

1歳6カ月児健康診査 保

内科 ところ = 指定医療機関 対象 = 平成14年11月生まれ 歯科 とき = 6月9日、16日いずれも水曜日 午前9時30分~10時30分 ところ = 市民健康センター 対象 = 平成14年10月生まれ

2歳児歯科健康診査 保

とき = 6月23日(水) 午後1時~2時受け付け ところ = 市民健康センター 内容 = 歯科健診、予防処置および育児相談など(予防処置は希望者のみで有料) 対象 = 平成14年5月生まれ 持ち物 = 母子健康手帳、歯ブラシ 申込方法 = 直接会場へ(事前通知はありませんのでご注意ください)

3歳6カ月児健康診査 保

とき = 6月8日(火) 午後1時~2時 ところ = 市民健康センター 対象 = 平成12年12月生まれ 持ち物 = 母子健康手帳

がん検診 保

とき = 6月17日(木) 25日(金) ところ = 市民健康センター 申込方法 = 6月9日(水) 17日(木)までに電話予約

区分	対象	受付時間	料金
胃	40歳以上	男性: 午前9時~9時15分	900円
		女性: 午前9時15分~11時	500円
大腸	30歳以上の女性	午前9時~11時	600円
		午前9時30分~11時	300円
子宮	30歳以上の女性	午後1時~2時	

は、6月25日(金)市民健康センターの場合のみ

結核検診 予

とき	受付時間	ところ
6月11日(金)	午前9時30分~11時	生きがいセンター
	午後1時~2時30分	市民健康センター

対象 = 15歳以上 申込方法 = 直接会場へ

健康相談 保

とき	ところ	受付時間
6月3日(木)	ひばりが丘南児童館	午前9時30分~10時30分
6月28日(月)	市民健康センター	
6月29日(火)	北地区文化センター	

内容 = 身体測定、尿検査、血圧測定、体脂肪測定と相談 持ち物 = 健康手帳 申込方法 = 直接会場へ

救急診療 予

電話をかける場合は番号をお確かめの上、お間違えないように!

診療科目	電話番号	診療場所	受付時間
小児科	☎046(255)9933	休日急患センター (市民健康センター1階)	午前9時~11時45分、午後2時~4時45分
内科	☎046(252)9090		午前9時~11時45分、午後2時~4時30分
歯科	☎046(252)8217		午前9時~11時30分、午後1時30分~4時30分
耳鼻咽喉科	☎042(756)9000	相模原南メディカルセンター(相模原市相模大野)	午前9時~11時30分、午後1時30分~4時30分
外科・婦人科・眼科	☎046(251)0119	消防テレホンサービス(左記)でご確認ください。	午前9時~正午、午後2時~5時(診療時間)

診療科目	電話番号	診療場所	受付時間
小児科	☎046(255)9933	休日急患センター (市民健康センター1階)	月曜~金曜日 : 午後7時~9時45分
内科	☎046(252)9090		土曜・日曜日、祝日: 午後6時~9時45分
外科	☎046(251)0119		午後6時~10時(診療時間)

診療科目	電話番号	診療場所	診療時間
小児科	☎046(255)9933	小児救急情報センター(左記)でご確認ください。	午後10時~翌朝午前7時(重病の場合は午前8時)
内科・外科	☎046(251)0119	消防テレホンサービス(左記)でご確認ください。	午後10時~翌朝午前8時

聴覚障害者専用問い合わせ先 ☎046(251)5263

◆◆◆◆◆ 会話パートナー養成講座 ◆◆◆◆◆

市では、失語症についての基本的知識とコミュニケーション援助の技術を身に付けて、失語症者の理解者となりながら地域社会への参加を手助けできる実践的な人材を養成するため、会話パートナー養成講座を開催します(下表参照)。

とき A・Bいずれのコースも午後1時30分~4時(全10回)
ところ サニープレイス座間(総合福祉センター)、市民健康センター
対象 A・Bいずれかのコースの全日程(講習・実習とも)が受講可能で、講座終了後会話パートナーとして地域で継続的に参加できる市内在住者
定員 A・Bいずれのコースも10人
参加費 テキスト代1200円(送料は別途徴収)

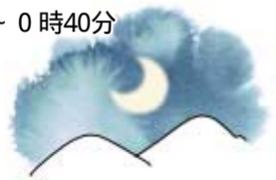
申込方法 希望コース(A・Bいずれか)、住所、氏名、年齢、電話およびファクス番号、就業の有無を電話・ファクスで担当へ

Aコース		Bコース	
講習	実習	講習	実習
7月8日(木)	8月2日(月)	7月22日(木)	8月16日(月)
8月12日(木)	9月6日(月)	8月26日(木)	9月27日(月)
9月9日(木)	10月4日(月)	9月30日(木)	11月1日(月)
10月14日(木)	11月15日(月)	10月28日(木)	12月13日(月)
11月11日(木)	平成17年1月17日(月)	11月25日(木)	平成17年1月24日(月)

担当 市民健康課 ☎046(252)7317 046(252)7043 是、市民健康センターで開催。

美しい日本の名歌

とき 6月9日(水)午後0時20分～0時40分
 ところ 市役所1階市民サロン
 曲目 朧月夜、七つの子ほか
 演奏者 ソプラノ 横山政美さん、
 ピアノ 浅沼敦子さん



No.	分類	講座名	No.	分類	講座名
1	福祉	在宅福祉サービスについて	29	教育	“まなび”をつくる～講座やイベントの企画・運営～
2		介護保険制度について	30		身近な歴史の調べ方
3		国民健康保険制度について	31		行ってみよう、見てみよう公民館
4		国民年金制度について	32		教育相談～子どもの心を知るために～
5		日本赤十字社のしくみ	33		適応指導教室「つばさ」とは
6		子ども大好き、簡単手作りおやつ	34		図書館見学ツアー
7		「もくせい園」ボランティア体験講座～知的ハンディを持った方への理解を深めよう～	35		おはなし宅配便
8		子育てを楽しく	36		“教育委員会”ってどんなところ？
9	健康	始めようよ!! ニュースポーツ～誰でもできるニュースポーツの紹介～	37		分かりやすい広報作り
10	環境	下水道「今昔物語」～下水道の「過去・現在・未来」～	38		非行のない明るい我がまち“ざま”～身近に起こる少年非行～
11		座間の水道について～水源から蛇口まで 水の旅～	39		ざまの歴史を楽しく知ろう～座間の生い立ち・成り立ち～
12		I SO 14001の取り組みについて～環境共生都市を目指して～	40		人権の木を育てよう～差別と偏見のない社会を目指して～
13		市民ぐるみで緑化推進を	41		学校・家庭・地域～子どもの豊かな育ちのために～
14		下水道のしくみ	42		これからの学校～新しい学習指導要領と学校教育～
15		みんなで考えようごみのこと～ごみの減量とリサイクル～	43		子どもと本とのかかわり方
16		石けん作り教室～食用廃油が固形石けんに変身～	44		座間の教育の歴史を知る
17		座間市の地下水について～おいしい座間の水を守ろう～	45		座間市のお財布～市の財政状況と現状～
18		目久尻川・鳩川をもっときれいに～河川の汚濁状況～	46		住居表示制度～分かりやすいまちづくり～
19	産業	座間の大凧まつり～大凧のルーツ・製作過程・現状と課題・継承問題～	47		戸籍の仕組み
20	防災	いざという時、あなたは?～救命救急法・初期消火訓練～	48	地方分権を考える	
21		聞く・見る・体験する防火研修～自分たちのまちは自分たちで守る～	49	選挙の仕組み～暮らしの中の選挙～	
22		快適な道路を造るには～道路を造る豆知識～	50	自治体監査のお話～監査って何をすると...～	
23		公共用地の取得について～公共用地の取得には目的があります～	51	議会の仕組み	
24		コミュニティ活動～自治会活動について～	52	税金入門～簡単に「税金の申告」～	
25		男女共同参画社会とは	53	固定資産税(土地・家屋)のあらまし	
26		みんなで考えるまちづくり	54	市税の納付方法	
27		国際交流～姉妹都市スマーナ市との交流について～	55	市の仕事を評価する～座間市行政評価システムとは?～	
28		座間市はどんなまちになるの?～第三次座間市総合計画って何?～	56	座間市の職員研修～時代の要請に対応できる職員～	
			57	条例って何?～行政、住民、条例のかかわりについて～	
			58	水道の上手な使い方～聞いて得する水道あれこれ～	
			59	これだけは知っていたい道路問題～境界査定と道路占有～	
				自治	

市役所発の生涯学習講座

ざま生涯学習宅配便

ざま生涯学習宅配便は、市民の皆さんに学習の機会を提供し、学習活動を支援するための講座です。市の職員が直接皆さんの所へ出向き、行政に関するさまざまな知識や取り組み内容などについてお話しします。福祉・健康・環境・産業・防災・まちづくり・教育・自治といった市政全般にわたる分野から、五十九種類の講座(左表参照)を用意

しました。身近な問題、関心のある市政情報などを自由にお選びください。なお、ざま生涯学習宅配便は、平成十四年十月に開始以来、延べ百九十二団体、一万三十四人にご利用いただきました。これからも多くの皆さんのご利用をお待ちしています。

三日までを除く、午前九時から午後九時までの間の二時間以内です。皆さんの都合に合わせて自由に設定してください。希望に添えない場合もあります。

原則として市内在住・在勤・在学者で構成する十人以上の団体です。仲間や友達、子ども会、自治会、地域団体などにご利用ください。ただし、政治・宗教または営利を目的とする場合や、本来の目的に合わない場合などは利用できません。

講師費用は無料ですが、会場費や実習に伴う教材費が必要な場合は、皆さんの負担となります。

講座を開催しようとする市内ならどこでも開催できます(個人宅でも可)。

会場は、主催者側で用意してください。原則として市内ならどこでも開催できます(個人宅でも可)。

対象

原則として市内在住・在勤・在学者で構成する十人以上の団体です。仲間や友達、子ども会、自治会、地域団体などにご利用ください。

費用

講師費用は無料ですが、会場費や実習に伴う教材費が必要な場合は、皆さんの負担となります。

申込方法

講座を開催しようとする市内ならどこでも開催できます(個人宅でも可)。

ところ

会場は、主催者側で用意してください。原則として市内ならどこでも開催できます(個人宅でも可)。

頑張っています! ボランティア

市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録されているボランティアグループを紹介しています。

「要約筆記と手話 ひまわり会」

代表 戸田良江さん・会員40人

ひまわり会は“聞こえない人”の代わりに“聞こえる人”が話を聞き、その内容を書いて伝える「要約筆記」と「手話」をしているボランティア団体です。同会は、平成5年10月に現在も代表を務める戸田良江さんたちが「聴覚障害者が十分な情報を得るためには、手話以外の伝達方法も必要」と考え、要約筆記の普及を目的に結成。現在、講演会や会議、映画会など、さまざまな催しで要約筆記と手話を行う傍ら、毎月3回、東原コミュニティセンターで学習会を開催し、技術の向上に努めています。同会は代表の戸田さんをはじめ、約半数の会員が聴覚などの障害者であることから、この学習会が「健常者」と「障害者」の交流を深める場にもなっています。気がねなくお互

いの立場で意見を交わすことによって、要約筆記や聴覚障害者を取り巻くさまざまな問題の解決のきっかけとなることも多いそうです。同会の活動について戸田さんは「要約筆記と手話は、聴覚障害者がコミュニケーションを取ったり、情報を取得したりするための重要な手段です。特に要約筆記は、聴覚障害者自身に特別な知識や訓練を必要としないことから、今後さらなる普及が望まれています。わたしたちは、これからもずっと“聞こえない人”と“聞こえる人”が自由に思うことを伝え合い、お互いを理解し尊重し合えるよう、その垣根を取り払う努力をしていきたいですね」と答えてくれました。問い合わせは、社会福祉協議会ボランティアセンター☎046(266)2002へ



こんにちは 赤ちゃん

 しづえ りょうた 渋谷 亮太ちゃん H15.9.29生まれ 男 入谷5丁目	 やまね ゆうが 山根 裕雅ちゃん H16.2.7生まれ 男 相模が丘5丁目
 うみしか とものり 海鹿 祥哉ちゃん H15.5.10生まれ 男 座間1丁目	 はら ねんり 原 然理ちゃん H15.9.25生まれ 男 相模台3丁目